

「武蔵一宮 氷川神社 歴史を通じて地域を知る」を参加して

令和4年9月20日、武蔵一宮 氷川神社にて「武蔵一宮 氷川神社 歴史を通じて地域を知る」を開催しました。本研修は、武蔵一宮氷川神社の権宮司 東角井真臣^①（ひがしつ のい まさおみ）氏を講師に、氷川神社の歴史から今日に至るまでの歴史をお話し頂きました。

当日は、台風が近づく中にも関わらず40名近くの会員の方にご参加頂きました。

ご講演の前に、氷川神社の祈祷殿にて、サイタマ・レディース経営者クラブの今後の繁栄を祈願頂きました。参拝とは、神様と向き合う貴重な時間とのことです。氷川神社内に入ると、大宮の都会の喧騒から、一瞬で凜とした空気に包まれました。

本来の参拝は、一の鳥居から参拝するのがよろしいとのことです（本殿まで約2キロあるようです）。

参拝後に社務所にて、本講演を賜りました。氷川神社の創建は今から約2500年前にさかのぼる古社です。「氷川神社」は全国約280社を数えるに至り、埼玉県をはじめ、東京都、神奈川県と武蔵の国の水源である荒川、多摩川を治める水の神様が祭られています。

氷川神社の名前の由来は諸説ありますが、氷川神社の「氷」は、水が神様の力が加わった神秘的な形であるとのことです。「熱い」「寒い」は神様の力であり、自然のものに神様が宿るとされています。全国の神社の中でも、神社の格が6番目に高いとのことでした。

歴史のお話では、我が国の歴史の重要な場面にて氷川神社が大きく絡んでいます。大河ドラマにも関係することもあり、大変興味深く伺いました。また写真などを交えながら、神社のお仕事や全国の神社についてもご案内いただきました。現在では、庶民信仰を中心にしても、敷地内の自然を自ら守っているとのことです。

最後に、会員と権宮司との記念写真と名刺交換を行い、研修会を締めくくりました。

研修委員会 近藤恵美子経営コンサルティング事務所 近藤 美恵子

^① 東角井真臣氏の「角」の字は、5画目は下に突き出ます。